

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
音楽 I	2	全日制課程・普通科・1学年	ON! (音楽の友社)				
科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を通じた見方や考え方を身に付け、生活や社会の中の音楽や音楽文化と幅広くかかわる資質及び能力を育成する。 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり、音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 (2) 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや音楽のよさや美しさを評価しながら聴くことができるようにする。 (3) 音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育て、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 ＜単元・題材の評価規準＞	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4～6 月 7週 14日	歌唱① ・手紙～拝啓十五の君へ～ ・少年時代 ・椰子の美 ・早春賦 理論① ・楽譜の知識と書法 ・音名 ・リズムと拍子 ・反復記号 ・音符と休符 鑑賞① ・バロック時代	14	① 知識・技能 歌唱：楽譜を正確に歌う技能を身に付けている。 理論：理論①の内容を知識として習得している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：歌詞の意味や曲想を考えて表現できる。 理論：楽譜のなかで考え生かすことができる。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 日本語の歌の美しさを感じ、主体的に表現している。 理論で得た知識を歌唱表現に生かしている。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・研究ノートによる理論学習 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録を作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	バロック時代と社会科世界史のつながりについてレクチャーする。
6～9 月 7週 14日	器楽① (クラシックギター) ・ギターの知識 ・やさしいメロディーによるギター入門 鑑賞② ・古典派の音楽 舞台芸術鑑賞① ・ミュージカルを見よう	14	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：古典派の音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのギター演奏に取り組む。	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・ギターの特徴を知る。 ・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方を学ぶ。 ・調弦 ・ウォーミングアップ ・テキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・ミュージカル鑑賞プリント作成		古典派と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。
9～11 月 7週 14日	歌唱② ・Caro mio ben ・野ばら 理論② ・音程 ・音階と調 鑑賞③ ・ロマン派の音楽	14	① 知識・技能 歌唱：イタリア語、ドイツ語の曲を原語で歌う技能を身に付ける。 理論：理論②の内容を知識として習得している。 ② 思考・判断・表現 歌唱：原語の特徴を生かし表現を工夫している。 理論：楽曲の中で取り出し考えることができる。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 外国語の音読などを主体的に行い、歌唱に生かせるようにする。	歌唱テスト 理論テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・研究ノートによる理論学習 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録を作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、範唱鑑賞後は、軽いディスカッションを行う。	ロマン派の音楽と歴史的時代とのつながりについてレクチャーする。
11～12 月 7週 14日	器楽② (クラシックギター) ・和音の響きと独奏の世界へ ・応用曲集 鑑賞④ ・宗教と音楽	14	① 知識・技能 器楽：楽器の特徴を理解し、正しく演奏する技能を身に付ける。 鑑賞：宗教と音楽を理解している。 ② 思考・判断・表現 器楽：楽器独特の表現を理解し、演奏に生かす。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 主体的にミニコンサートに参加し、人前でのギター演奏に取り組む。	ギター演奏テスト 鑑賞記録の評価 同上 同上	・テキストから演奏する時の姿勢や基本的な弾き方学ぶ。 ・調弦 ・ウォーミングアップ ・テキストの曲を演奏 ・ミニコンサート ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成		宗教と音楽の関係について学ぶ。
1～3月 7週 14日	合唱の喜び ・春に ・ニューミュージックより1曲 鑑賞⑤ ・近現代の音楽 舞台芸術鑑賞② ・歌舞伎を見よう	14	① 知識・技能 合唱：楽譜を正確に読み取り、また、歌唱で身に付けた技能を生かし、歌うことができる。 鑑賞：近現代の音楽を理解している。 日本の伝統芸能を理解している。 ② 思考・判断・表現 合唱：曲想や言葉の意味を考え、それに合った表現をしている。 鑑賞：鑑賞の記録を書く。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 合唱においてパート練習などに主体的に取り組む、全体合唱で合唱の喜びをお味あわせるようにする。	録音による自己評価 鑑賞記録の評価 同上 同上	基礎発声 ・階名唱 ・歌詞朗読 ・歌詞唱 ・範唱鑑賞 ・パート練習 ・全体合唱 ・録音・鑑賞 ・CD鑑賞 ・鑑賞の記録作成 ・DVD鑑賞 ・歌舞伎鑑賞プリント作成	歌唱はすべて声に出して行う。また、録音終了後は、鑑賞し軽いディスカッション	近現代の音楽と歴史的背景についてレクチャーする。
指導時間数の計		70					